



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2010年3月号

チリ沖地震による津波発生で考えたこと

2月も終わり、春の気配が訪れた3月2日、衆議院本会議で「平成22年度予算」が可決された。これで年度内（3月中）に予算が成立することが決まった。予算には衆院の優先性が認められている。そのため、衆院本会議で可決された予算は、参院での審議にかかわらず、遅くとも30日後の3月31日には予算が成立することになる。

さて、そんな衆議院での予算審議が最終盤を迎えた2月28日（日）、私は在京当番で東京に残っていた。在京当番とは、各省庁の政務3役（大臣、副大臣、大臣政務官）のうち最低一人は東京に残って危機対応に当たるための仕組みである。自然災害や予期せぬ事態が発生した場合の予防・災害対応に備えて、政務3役の誰かが東京に残っているのである。大臣が常に東京にいることが本来的ではあるが、国土交通大臣は土日となれば地方の視察に出かけることが多い。そのため、副大臣と大臣政務官の5人が順番で東京に残るのである。

2月28日（日）は私の当番日であった。前日チリ沖を震源地とするマグニチュード8.8という大規模地震の影響から、28日の午後には大津波が日本に到達するという気象庁の予測のもと、官邸のみならず国土交通省においても「災害対策本部」が設置された。在京当番だった私も、連絡を受けて国土交通省に駆けつけた。事務次官をはじめ各級局長等が災害センターに参集し、刻々と変わる全国の津波情報収集に努めた。私も政務官就任後、初めて防災服を着て、緊迫した空気が流れる防災センターで**正確な情報の収集と被害の防止に全力を注ぐ**ように訓示をした。

今回は震源地がチリ沖ということで津波が日本に到達するのに相当の時間がかかること、日本に最初に津波が到達する時間が午後1時という行動しやすい昼間の時間帯であったことなど、私たちが落ち着いて判断する条件が揃っていた。一方で**市町村からの避難指示に従わなかった人が少なかったことが気になる。被害が少なかったことは幸いだったが、自然をあなどってはいけない。**

また、もし、突然の東京直下型地震であったら、今回のように冷静な対応ができたかどうか。今回、私はタクシーで駆けつけたのだが、当日実施されていた『東京マラソン』の影響で、閉鎖されている道路が数カ所あり、遠回りをせざるを得なかった。これが東京直下型地震だったら、私は国土交通省内の防災センターにたどり着くことすらできないのではないかと思う。日頃よりシミュレーションしておく大切さを実感した。

そこで、私は20年程前から議論されてきた「首都機能移転」問題を思い出した。東京に国会・行政・司法、情報・経済拠点、国際機関などが過度に集中している現状では、まさに大災害が起こった場合、すべての都市機能が麻痺してしまう危険性がある。危機管理上、機能分散が必要という観点からも「首都機能」の移転問題が議論されていたが、その議論が昨今少し停滞気味である。

首都機能の移転・分散の問題や国際競争力ある『世界都市東京』の建設に向けた都市機能集中の問題等の国土計画は重要である。**今回の津波をきっかけに“都市機能の集中と分散”の問題について再度真剣に考える必要性を強く感じた。**

～藤本ゆうじの自分史～ その7

熱海第二小を卒業した私は、越境入学で沼津第一中学に入学した。同級生は同じ学区の沼津一小から上がってきた生徒ばかり。静岡から熱海に転校した時と同じように、入学後1～2週間は疎外感を感じた。沼津まで通ったのは両親の意向である。当時は素直だった私は、親の言う通り熱海から沼津へ通った。

坊主頭が決まりだった当時の中学では珍しく沼津一中では髪を伸ばせた。私の頭は自慢ではないが、後頭部がまっ平の、いわゆる絶壁頭だ。坊主になると、私の絶壁頭が目立ってしまう。「髪の毛を伸ばせる中学に行きたい」という私の個人的希望と親の選択とが一致したことが一中に進んだ理由である。

熱海の家を出てバスに乗って熱海駅で東海道線に乗り換えて沼津駅で下車し、駅から15分歩いて沼津一中に到着。約1時間の道のりだった。体の小さい私（入学当時の身長は143センチほど）が大人に混じって通学する姿は痛々しかったと姉が後に言っていた。

熱海から沼津一中には1学年当たり3～5人が通っていた。私の学年は、伊豆山の千

葉君、山田君、山本君と私の4人。東海道線では1年から3年生まで同じ車両に乗った。沼津駅から中学校まで徒歩競争をしたり、丹那トンネルで電車が停まった時にトランプをしたりと学年を超えて仲が良かった。

一中には、通学途中で買い食いをしてはいけないという校則があった。しかし、駅構内は誰にも見られないことを良いことにたびたび桃中軒の駅の立食いそばを食べた。今でも沼津駅のホームでそばのおつゆの香りがかぐと当時を思い出す。熱海で医院を開いている渡辺修一君という後輩は、鞆を電車に置いたままそばを食べていて、電車に乗り遅れてしまった。なんでも2杯目を食べていたそう。鞆は私が彼の家に届けた。

小学校は給食だったが、中学はお弁当持参だった。給食は残さず食べろと言われても隠して持ち帰ったが、お弁当は隠す必要はない。残しても良いと言われると全部食べてしまう。人間とはげんきんな生き物だ。中学に入り、食べる量が増えて少しずつ140センチの小さい体が大きくなっていった。<続く>

<藤本ゆうじ事務所からのお知らせ>

◇「藤本ゆうじ、東部の集い」を4月11日（日）の17：30から開催（沼津東急ホテル）。

野田佳彦財務副大臣、馬淵澄夫国土交通副大臣、蓮舫参議院議員と地元の渡辺周総務副大臣と豪華メンバーをそろえて、パネル討論会&懇親会を開催します。会費は4,000円です。

◇「藤本ゆうじ、西部の集い」を4月19日（月）の18：00から開催（グランドホテル浜松）。

川勝平太静岡県知事、鈴木康友浜松市長と、こちらも豪華なお二人のゲストをお招きしての懇親会です。会費は3,000円です。

*両会場とも軽食付きです。定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにご予約ください（チケットご希望の方は、下記、「藤本ゆうじ静岡事務所」までお問い合わせください）。

◇静岡で開催予定の「中部の集い」は5月23日（日）です（詳細は後日）。

■民主党参議院議員藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティックス」

*3月の放送は3月26日（金）の18：30からです。FMHi(76.9MHz)でお楽しみください。

藤本ゆうじ静岡事務所：〒422-8067 静岡市駿河区南町 6-16 パレ・ルネッサンス 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993 Eメール：office-fujimoto@fujimoto-yuji.org